

### 第3版はしがき

プリメール民法シリーズの第2版は2005年に刊行された。以来9年、初版と同様に、わかりやすい教科書として多くの読者を得てきた。今回は、この9年の間の新しい判例を追加すると同時に、債務法改正の議論状況などもある程度反映させながら、アップトウデートなものにした。また、第2版では、現代語化と同時に保証制度の改正が行なわれたので、これらを盛り込んでいる。

この間、第9章を執筆された田中清さんが2008年に亡くなられた。さらに本書の成立に中心的な役割を果たしてこられた宇佐見大司さんも、2013年3月に名城大学を退職された。そこで、新しく高橋眞さんと山田希さんに執筆をお願いした。また、玉樹智文さんの分担部分も新しく手が入れている。その結果、大島の分担部分以外は、新しく生まれ変わったものと言っても間違いがない。

ひとつだけお断りしておかなければならない。私たち執筆者は長年の研究活動において互いに励まされ、助けられてきた。この本も、初版以来、宇佐見さんを中心にして、議論を重ねながら作り上げてきた成果でもある。とくに宇佐見さんの執筆された序章はわかりやすく適切な例が用いられている。そこで、この部分は第3版でもそのまま使用させていただくことにした。

第3版の作成にあたって、法律文化社の秋山泰さんには、改訂作業のために多くの努力をしていただいた。また秋山さんとともに、ご尽力してくださった法律文化社編集部の方々にもお礼を申し上げます。

2014年5月1日

執筆者を代表して

大島 和夫